



Global
Leadership
Programme

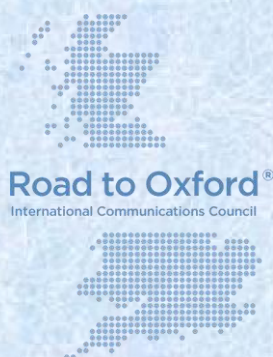


The Oxford and Cambridge Club

ICC インターナショナル・コミュニケーションズ・カウシルは、The Oxford and Cambridge Club の正会員です。



OXFORD INTERNATIONAL EDUCATION GROUP



Dear the students,
Thank you for joining us in
the UK.
At Oxford International
Programmes, our aim is to
provide young students from
all over the world with a safe,
fun, friendly and structured
environment in which to
improve their knowledge of
the English language.

We are one of the top providers of the programmes
in the UK and a unique British Council accredited
education provider. Oxford International Programmes
is part of the Oxford International Education and Travel
by David Brown and Robert Darell. Oxford International
has grown to be one of the top 10 businesses sponsored by
the Prince's Trust. OIEG now offers a huge range of
university pathways, spring, summer and year round
academic programmes and educational tours. Our programmes
have grown steadily in size and popularity and we now run
13 centres in the UK and 6 centres in North America welcoming
over 20,000 students.

We create life enhancing learning experiences
that help students worldwide to develop personally and
professionally and that enrich their future opportunities.



David Brown and Robert Darell with
HRH The Prince of Wales



イギリスの基本情報

本来、相矛盾するものと捉えられている「伝統と革新」「自由と規律」が、共存し融合している古き良き英国の社会・文化の特徴が、人々の生活の営みに、街角に、ロンドンの雑踏に、緑豊かな郊外に、あらゆる場所に表れている味わい深い国です。

正式名称: グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

首都: ロンドン

人口: 約6,835万人

面積: 約24万km²

人種・民族: イングランド人、その他

宗教: キリスト教、その他

言語: 英語、ウェールズ語

通貨: 英ポンド £

為替レートは、£ 1.00 = ¥193.10 (2025年5月1日現在)

<https://www.x-rates.com/historical/?from=GBP&amount=1&date=2025-05-01>

レートはスーパーマーケット(Marks & Spencers)、ホテル、銀行、両替所の順に良くなります。

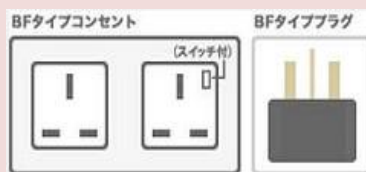
時差: マイナス8/9時間（夏/冬）（イギリスが正午の時、日本は午後8時/午後9時）

サマータイム: 4～10月はマイナス 8 時間（イギリスが正午の時、日本は午後 8 時）

日本からのフライト時間: 約 12時間（直行便）～15 時間

電圧: 240ボルト 50ヘルツ

プラグ: 先が四角い三股のBFタイプ



水道水: 水道水は飲むことはできますが、硬水なので身体・口に合わない場合はミネラルウォーターを。レストランや食堂では、ミネラルウォーターは有料です。

炭酸入りもあるので、記載に注意して購入・注文をしましょう。

500mlペットボトル1本が約1ポンドほどで駅の売店やコンビニで購入できます。

トイレ事情: 公衆トイレが有料で40ペンス位で街中にあります。その他、無料のトイレは危険なので使わないようにしましょう。スーパーやマクドナルドやスターバックスのトイレは無料で使えます。

持っていくと便利

電卓: 日本円に換算するといくらでしょう？ 1 台あればマーケットでの値段交渉がスムーズに、お買い物が楽しくなります。

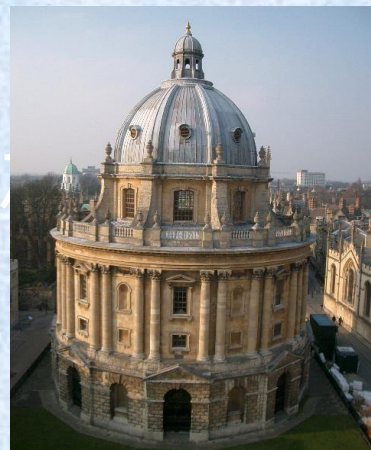
衣装圧縮袋: お土産などがカバンに入らない時、かさばる衣類はこれで小さくまとめてスペースを確保できます。

常備薬: 気候の変化や旅の疲れから体調を崩すこともあります。薬は飲みなれているものを用意

雨具: イギリスは天候の変化が激しく予報はあてになりません。折り畳みの傘やカッパなど、雨具は準備しましょう。

クレジットカード: イギリスでは、ほとんどのお店でVISAやMasterのカードが使えます。極力、現金は持ち歩かないようにしましょう。暗証番号 **PIN Number** は、手帳などに記載するのではなく、頭の中に記憶しておきましょう。クレジットカードでのキャッシング機能については、事前にクレジットカード会社と契約しておきましょう。

Oxford University has an academic history dating as far back as the 11th century. It is Internationally recognised as one of the world's finest academic institutions, with graduates including C.S. Lewis, J.R.R. Tolkien, T.S. Eliot, Bill Clinton, David Cameron, Margaret Thatcher, and many others ranging across many professions. Even today, it is ranked as one of the top universities in the world.



The city has all necessary amenities (pharmacies, shops, cinemas) within walking distance; there is no need for public transport within the city centre. The summer schools are held in the central area, less than one mile from the city centre of Oxford. Our aim is to inspire all our students to return home, not only with an increased knowledge of English, but also with the confidence to use it. Also, we hope that you will make many new friends from around the world and have fond memories of your stay in Oxford. You will no doubt have a very enjoyable time studying here.

We look forward to the privilege of being able to welcome you to Oxford.

ICC UK Representative
(ICC Oxford 代表)

比類なき伝統と名声を誇るオックスフォード大学は近代国家成立以前から存在し、ある意味で国づくりの基盤的役割を果たしてきました。そこには、決して場当たり的ではない仕組み、国や社会の営みを支える哲学が根付いており800年以上の歴史と伝統を築いてきました。

オックスフォード大学は、現代社会の贅沢、華やかさ、便利さを提供する場所ではありません。本来、相矛盾するものと考えられている伝統と革新が共存し、結合させることを指針とする教育を提供しています。時代の流れによって変わってはならないもの、変わらなければならないもの、古今東西変わらぬ、人の喜怒哀楽を理解し、次代を担う青少年が継承しなければならない原点となるものを、今なお、肅々と、伝えています。

オックスフォード大学での研修は、コミュニケーション能力と異文化を受容する力、国際レベルで対等に自己表現する発信力、主体性と協調性を兼ね備え、論理的思考能力を切磋琢磨することを目的としています。自信と誇りを持って主体的に自らが世界を牽引し、新しい時代を切り拓く発想力・冷静かつ大胆な思考力・リーダーシップを発揮するグローバル人材育成コースです。自分を見つめ直し学修意欲の向上や将来計画への動機付けとなり、人間的に大きく成長する機会となる留学であることを願っています。

オックスフォード大学



オックスフォード大学(1096 年創立) <http://www.ox.ac.uk/> は、総合大学であり、ケンブリッジ大学と並び世界大学ランキングで常にトップレベルの大学として評価されている名門大学である。

「オックスフォード大学」は総称であり、下記の44のカレッジ(学寮)で構成されている。

1	All Souls College	2	Balliol College	3	Blackfriars	4	Brasenose College
5	Campion Hall	6	Christ Church	7	Corpus Christi College	8	Exeter College
9	Green Templeton College	10	Harris Manchester College	11	Hertford College	12	Jesus College
13	Keble College	14	Kellogg College	15	Lady Margaret Hall	16	Linacre College
17	Lincoln College	18	Magdalen College	19	Mansfield College	20	Merton College
21	New College	22	Nuffield College	23	Oriel College	24	Pembroke College
25	The Queen's College	26	Regent's Park College	27	St Anne's College	28	St Antony's College
29	St Benet's Hall	30	St Catherine's College	31	St Cross College	32	St Edmund Hall
33	St Hilda's College	34	St Hugh's College	35	St John's College	36	St Peter's College
37	St Stephen's House	38	Somerville College	39	Trinity College	40	University College
41	Wadham College	42	Wolfson College	43	Worcester College	44	Wycliffe Hall

- ・大学(University)の運営は学科(Department)と44のカレッジ(学寮)が並列して行われる。
- ・英国オックスフォード市に位置している。
- ・英語圏では英国ケンブリッジ大学に次ぐ古い歴史をもっている。
- ・世界大学ランキングで常にトップレベルの世界有数の名門大学
- ・11世紀に創立
- ・名誉総長(Chancellor)は、クリストファー・パッテン卿
- ・世界中の指導的学者、ノーベル賞受賞者、オリンピックメダリスト、ならびに政治家を輩出
- ・教育体制は学科とカレッジが複雑に相互依存している。
- ・指導は、主に少人数制(1人の教員Tutorに対し学生3人～6人)の個別指導(Tutorial)
- ・学生数 — 約20,000人
- ・受験制度 — 通常の試験及び面接試験(AO入試)を重視
- ・自由と規律の全人教育

Cambridge University has an academic history dating as far back as the 13th century. It is internationally recognised as one of the world's finest academic institutions, with



graduates including Isaac Newton, Charles Darwin, Bertrand Russell, Ludwig Wittgenstein, Stephen Hawking, James Watson, and many others ranging across many professions. Even today, it is ranked as one of the top universities in the world.

The city has all necessary amenities (pharmacies, shops, cinemas) within walking distance; there is no need for public transport within the city centre. The courses are held throughout a year, in the central area, less than one mile from the city centre of Cambridge. Our aim is to inspire all our students to return home, not only with an increased knowledge of English, but also with the confidence to use it. Also, we hope that you will make many new friends from around the world and have fond memories of your stay in Cambridge. You will no doubt have a very enjoyable time studying here.

We look forward to the privilege of being able to welcome you to Cambridge.



ICC UK Representative



ケンブリッジ大学（1209年創立）<http://www.cam.ac.uk/> は、総合大学であり、オックスフォード大学と並び世界大学ランキングで常にトップレベルの大学として評価されている名門大学です。
「ケンブリッジ大学」は総称であり、下記の31のカレッジ（学寮）で構成されています。

1	Christ's College (1505)	2	Churchill College (1960)	3	Clare College (1326)
4	Clare Hall (1965)	5	Corpus Christi College (1352)	6	Darwin College (1964)
7	Downing College (1800)	8	Emmanuel College (1584)	9	Fitzwilliam College (1869)
10	Girton College (1869)	11	Gonville & Caius College (1348)	12	Homerton College (1976)
13	Hughes Hall (1885)	14	Jesus College (1496)	15	King's College (1441)
16	Lucy Cavendish College (1965)	17	Magdalene College (1428)	18	Murray Edwards College (1954)
19	Newnham College (1871)	20	Pembroke College (1347)	21	Peterhouse (1284)
22	Queens' College (1448)	23	Robinson College (1979)	24	Selwyn College (1882)
25	Sidney Sussex College (1596)	26	St Catharine's College (1473)	27	St Edmund's College (1896)
28	St John's College (1511)	29	Trinity College (1546)	30	Trinity Hall (1350)
31	Wolfson College (1965)	()内の数字は、創立年			

- ・大学(University)の運営は学部(Department)と31のカレッジ(学寮)が並列して行われます。
- ・英国ケンブリッジ市に位置しています。
- ・英語圏では英国オックスフォード大学に次ぐ古い歴史をもっています。
- ・世界大学ランキングで常にトップレベルの世界有数の名門大学
- ・13世紀に創立
- ・現在の総長(Chancellor)は、エディンバラ公フィリップ
- ・世界中の指導的学者、ノーベル賞受賞者、オリンピックメダリスト、ならびに政治家を輩出
- ・教育体制は学科とカレッジが複雑に相互依存しています。
- ・指導は、主に少人数制（1人の教員Tutor に対し学生3人～6人）の個別指導（Tutorial）
- ・学生数 — 約19,000人
- ・受験制度 — 通常の試験及び面接、客観入試点を重視



ケンブリッジ大学のカレッジ数は31校。この“カレッジ”には、学生たちが寝食する学生寮があります。このカレッジ群をひとつにして“ケンブリッジ大学”と称します。

また、理系に強いケンブリッジ大学のある街のためシリコン・フェンと呼ばれるイギリスにおけるハイテク産業の中心地にもなっています。

- ・ **ロンドン市内からバスで約 1 時間30分～ 2 時間、電車で約45分**
- ・ **ヒースロー国際空港からはバスで約 2 時間**
ケンブリッジはロンドンキングス・クロス駅からノンストップの電車で約45分！週末にロンドンショッピングや観光へでかけることもできます。
市内は路線バスが発達しており、日常生活での移動はもちろん、観光などでも有意義に楽しむことができます。

Oxford English Programme

実施場所	【オックスフォード・インターナショナル・カレッジ】 Oxford International Education Group Oxford School 36-37 Pembroke Street, Oxford, OX1 1BP United Kingdom	
	【オックスフォード・ブルックス大学】 Oxford Brookes University, Harcourt Hill Campus, Harcourt Hill, Botley, Oxford, OX2 9AT	
クラス編成	レベル別のクラス分けあり。（1クラス人数 約15人～20人） クラスは英語のレベル別に編成します。多国籍のクラス編成を努めますが、同国籍が多くを占める場合があります。	
授業形式	対面授業 ※ハイブリッド型の授業もあります	
滞在形式	ホームステイ（個室は確保されますが、他国からの留学生と同居する場合があります。）／学寮	
オリエンテーション	クラス分けテストの実施及びクラス編成授業、ホームステイや学寮ステイでの諸注意	
	プログラム中の相談先のご案内：	1. Student Supporter（ホームステイ・学寮や生活全般） 2. Teacher（英語レッスンやプレゼン、質問など） 3. AL（Activity Leader 課外活動、ツアーなど）
研修内容	WritingとSpeakingのプレゼンテーション能力育成を重視し、英語での発信力を訓練する研修 ① 英語の正確な知識と流暢な運用能力を高める。英文の機能・構造の理解とその応用力を養成 ② リサーチテーマについて口頭発表する力を養成します。 ③ 教員は授業による指導のみならず受講生との関係を築くことに関しても高い技術・資格をもっています。 ④ プロジェクトクラスや、文化に関するテーマで授業を進行します。 Oxford English Programme の研修は、その特徴を生かして、コミュニケーション能力と異文化を受容する力、国際レベルで対等に自己表現する発信力、主体性と協調性、論理的思考能力を養うグローバル人材育成コースです。受講生は、教室内ばかりではなくオックスフォード市街にある大学博物館や植物園、自然博物館など、様々な施設を利用し、あらゆる場所・状況で日常的に英語を使用する環境で知識を深めることができます。Queen's Englishの発音を楽しんでください。	
通信環境	●学校、ホームステイ先や学寮では、Wi-Fi が繋がります。	
電話番号	緊急を要する時 緊急連絡先：警察、救急車、火事、または生死に関わる緊急事態が発生した時は 999 、または携帯電話から 112 に電話する。	
	緊急を要しない時 上記以外で、警察に連絡するときは、 101 に電話する。 上記以外で、病院に連絡するときは、 111 に電話する。	



Oxford English Programme

授業について

基本となる授業内容

- 英語を正確に理解し、自信を持って流暢に話することができるよう、授業はライティングとスピーキングの進歩を重視する実践発信型英語研修です。
- 講師は英語だけではなく、受講生との関係を築くことに関しても高い技術・資格をもっています。
- 英文の機能・構造の理解とその応用
- リスニング、ライティングおよび英文読解力
- スピーキングの練習
- プロジェクトクラスや、文化に関する授業



受講生の学習環境

- オリエンテーション開催、クラス分けテストの実施
- 少人数制（1クラス約15人～20人）の多国籍クラス
- 自習室が利用できる環境



※極力、多国籍のクラスを編成することに努めますが、レベル別テストの結果次第では同国籍が占めてしまう場合があります。



CEFR/IELTS/TOEFL/ PTE/TOEIC/英検 スコア換算表目安

CEFR	IELTS	TOEFL iBT	TOEFL CBT	TOEFL PBT	PTE	TOEIC	英検
C2	9	120	297～300	673～677	87～90	-	-
	8.5	119	293	670	83～86	-	-
C1	8	117～118	287～290	660～667	79～82	-	-
	7.5	109～116	267～283	630～657	73～78	970～990	-
	7	100～108	250～263	600～627	65～72	870～970	1級
B2	6.5	90～99	233～247	577～597	58～64	820～870	-
	6	80～89	213～230	550～573	50～58	740～820	準1級
	5.5	69～79	192～212	521～549	42～49	600～740	-
B1	5	61～68	173～190	500～520	35～42	550～600	2級
	4.5	52～60	150～170	470～499	28～34	500～550	-
	4	45～51	130～149	450～469	～27	450～490	準2級
A2	3.5	33～44	110～129	400～449	-	300～440	-
	3	29～32	100	391～399	-	291～299	3級
A1	2.5	20～28	90	390	-	270～290	-
	2	12～19	-	350～389	-	260～269	4級
	1.5	-	-	-	-	100～259	5級

http://ieltsnavi.com/score_conversion.html

日常生活について

◆ 通学について

基本的にはホームステイ先から学校までは各自でバス、自転車、徒歩で通学します。通学時間はホストファミリーの場所にもよりますが、15分～45分くらいが目安です。学校までの行き方は、ホストファミリーが教えてくれますので、ご安心ください。

◆ 食事について

ホームステイ中は、朝食・昼食・夕食の3食が提供されます。昼食につきましてはお昼を持たせてくれます。学寮の場合は基本的には自炊です。、しかし、コースによっては朝食・昼食・夕食の3食が提供されます。朝食はコーンフレークやトースト、コーヒー、ティーという簡単なものです。ほとんどの家庭では、自分の食べるものを自分で用意して食べるか、ホストファミリーと一緒に調理して食べます。

アレルギーなどで食べられないものや、嫌いなものがあれば事前に伝え、また食事の量は家庭によって違いがあるので、「多い／少ない」などは遠慮せずに言いましょう。



◆ 入浴・洗濯について

ほとんどの家庭では、バスhtubでゆっくりとお湯につかる日本のような入浴ではなく、シャワーだけ10分程度で済ませます。石鹸やシャンプー、ドライヤーなどは家庭のものを使わせてもらったり、自分独自使用のものは自分で準備しましょう。タオルは、自分用のを持参しましょう。海外のほとんどの家庭ではお湯はタンク式になっており、一定量のお湯がなくなると、次にタンクにお湯が貯まるまで待たなくてはなりません。またバスルームは洗面所とトイレが一緒になっている場合が多く、長い間バスルームを占有していると、他の人がトイレなどを使用できなくなってしまう。「郷に入れば郷に従え」ということで、入浴はなるべく早く切り上げるよう心がけましょう。

洗濯については、ホームステイ先によって2通りの方法があります。ホストファミリーの分と一緒に洗ってもらえる場合と、自分の分は自分で洗濯する場合があります。家庭によって方法が違うので最初に確認しましょう。自分の分は自分でという場合でも、洗剤などはファミリーのものを使わせてもらえます。

◆ コミュニケーションは積極的に！

語学力が乏しいということだけで、コミュニケーションがうまくとれないことはありません。明るさ、積極性、礼儀正しさがあれば言葉の壁は必ず克服できます。基本的な“Please”、“Thank you”、“Excuse me”という言葉は日常生活をお互いが気持ちよく過ごす上でとても大切な言葉です。これらの言葉を自然に言えるように常に意識しておきましょう。大事なことは、自分の意思をハッキリ相手に伝えよう、会話を楽しもうとする積極的な姿勢です！思い切って、“Hello,,,”、“Excuse me,,,”と話しかけてみて！

ホームステイについて

ホームステイは“現地に住む一般家庭での 普段の生活を体験する”ものです

ホームステイを体験することで、生活習慣や文化の違いなど、
現地の生活を身近に体感することができます

◆その国の素顔を発見！

ホテルに泊まっているだけではわからない、その国の素顔。例えば、家の間取り、日本と違う調味料や食材、手入れの行き届いた庭、家庭の家事分担の様子、家族の関わり、子供たちの遊び、休日の過ごし方など、一緒に暮らしてみなければわからない発見はたくさんあります。

◆ホストファミリーの家庭はさまざま

ホストファミリーになってくれる方々は、日本の私たちの家庭が一つ一つ違うようにさまざまです。家族構成や習慣などはファミリーによってそれぞれ違います。それぞれのファミリーを比較するのではなく、お互いに尊重し理解しあえる心がけが大切です。

◆思い切って話しかけてみて！

「英語が通じなかったらどうしよう」という不安はもっともありがち。初対面の人と、しかも英語でコミュニケーションをとれるかどうか不安を感じる人もいるかもしれません。しかし、心を開いて意思を伝えることが重要です。コミュニケーションは片言の英単語と身振り手振りで十分です。重要なことは、自分の意思をハッキリ相手に伝えようとする努力と、会話を楽しもうとする積極的な姿勢です。

ホストファミリーと良い関係を築くためには、その国の文化やものの考え方を理解しようとする気持ち、積極性と柔軟性、そしてホストファミリーとのコミュニケーションが大切です。

語学力不足による誤解を避け、お互いに理解し合うためにも、自分から積極的に話をし、ここから国際交流の第一歩を踏み出しましょう。



イギリスのホームステイでは、受け入れ家庭の人種的・宗教的背景は様々です。

英語圏だからといって、白人家庭とは限りませんし、子供のいる家庭、父子・母子の家庭、子供が巣立っている老夫婦の家庭など、様々です。留学生を家族の一員として迎え入れ、お互いの文化を分かち合おうとする気持ちは皆同じです。どの家庭も事前に慎重に選定されています。また、異性、同性を問わず他国籍の学生が同居する場合があります。

(注意) ホストファミリーはマッチングを重視するため、出発間際まで決まらない場合があります。また、やむを得ない事情によって、到着直前にホストファミリーが変更することもありますので、ご了承ください。

イギリスでのホームステイについてガイドライン

- 1 食物について嗜好、アレルギー、菜食主義など、必ず知らせてください。
- 2 食事の時間は通常、毎日決まっています。夕食をしない場合、または夕食に間に合って帰宅できない場合は、必ず事前に連絡してください。
- 3 自分で調理する場合は、必ずホストファミリーに了解を得てください。
- 4 歯磨粉、歯ブラシ、ソープ、シャンプー、クリームなどの洗面用具や化粧品、タオルは個人的な物なので自分用の物を準備してください。
- 5 喫煙者の場合は、ホストファミリーにどこで喫煙できるか、事前に尋ねてください。通常、屋内では喫煙しません。
- 6 シャワーをする時間（帯）についてはホストファミリーと相談してください。普通、朝はシャワーは混み合いますので夕方シャワーするように言われるかもしれません。
- 7 寝具は1週間に1度替えます。アイロンやアイロン台はホストファミリー宅のを使用できますが、アイロンは自分でしてください。
- 8 万一、ホストファミリーの家のものを破損した場合は、直ぐにホストファミリーに伝えてください。弁償しなければならない場合は、海外旅行傷害保険会社に連絡してください。
- 9 夜間遅く帰宅する場合は必ずホストファミリーに知らせてください。
- 10 夜間はヒーターのスイッチを切られるかもしれません。寝室が寒い時は、ホストファミリーに余分の毛布など求めてください。
- 11 ホストファミリーの家の鍵は責任をもって管理してください。万一、鍵を失くしても、その鍵がどこの家の鍵かわからないように、ホストファミリーの住所と一緒に鍵を保管しないでください。
- 12 友人（家族）がホストファミリーのうちを訪れる時は必ず事前にホストファミリーの了解を得てください。原則、友人や家族は、ホストファミリー宅に宿泊はできません。

学寮について

大学・学寮の施設について

- ▷敷地はととても広く寮と教室がある建物は別
- ▷1人～2人部屋 個室
- ▷部屋にはデスク、椅子、本棚、デスクランプなどが設置
- ▷共用キッチンはグループ毎にある寮とない寮がある
- ▷寮内には洗濯室や、ラウンジなどが設置
- ▷乾燥機付きの洗濯機(有料)で自分で洗濯、使い方はメンターが教えてくれる



- ▷寮で病気になった時の対応
- ⇒学生寮は守衛が 24 時間体制で常駐
- ⇒研修中は教師、アクティビティーリーダー、寮母が24 時間体制で生徒の健康と安全な生活を管理



Oxford International | Juniors – Summer at Oxford Brookes University (UK)

Oxford International Educati... チャンネル登録 8 共有 オフライン

👉 YouTubeで公開されています

【Oxford International | Juniors – Summer at Oxford Brookes University (UK)】

<https://www.youtube.com/watch?v=HiuHyEI1ZyE>

英国の見どころ

下記はオックスフォード市またはケンブリッジ市から日帰り、または1泊旅行で見学可能な場所の例です。

- イギリスの電車の時間表 <https://www.thetrainline.com/train-times>
- イギリスの電車の時間表および料金 <https://www.thetrainline.com/> ; <https://www.nationalrail.co.uk/>

公共交通機関を利用してー

● 約1時間

- **London** 欧州連合最大の都市。フリーマーケットや高級店、象徴的な史跡、ファッションやアートの最先端が入り混じる

● 約2時間

- **Cotswolds** 時の流れが止まってしまったような緑の丘に点在する小さな村々、イギリスの中世の名残
- **Oxford** 英国のもう一つの学府の都
- **Hampton Court Palace** テューダー様式建築の代表、16世紀ヘンリー八世の宮殿
- **Windsor Castle** 900年以上の歴史を誇るゴシック建築の王城
- **Eton College** 英国一の名門男子パブリックスクール
- **Greenwich Observatory** グリニッジ標準時を決める天文台

● 約3時間

- **Warwick Castle** 英国15世紀の城
- **Blenheim Palace** バロック様式建築の傑作、世界遺産、チャーチル英国元首相が生まれ、幼少時を過ごした宮殿
- **Canterbury Cathedral** カンタベリー大聖堂、英国教会の総本山
- **Stratford-upon-Avon, Shakespeare Museum** イギリス16世紀ルネサンスの華シェイクスピアの生家
- **York Minster** ヨーク大聖堂、英国教会（北部）の総本山

● 約4時間

- **Liverpool** 世界文化遺産海商都市、ビートルズ博物館
- **Wales** アングロサクソン系とは異なるケルト系民族文化が色濃く残り自然や歴史遺産が多い
- **Bath** ローマ時代に浴場を建設
- **Stonehenge** ソールズベリー平野にあるヨーロッパ随一の巨石遺跡文化

● 5時間以上

- **Scotland** 産業革命以前より科学・技術の中心地であったが、何故か時代の波に取り残されたような手つかずの素朴さが楽しめる



社会文化研修

ロンドン、コッツウォルズ、ストーンヘンジ&バース等の見学の社会文化研修はオプションで、プログラム費用に含まれていません。現地の AL (Activity Leader) や友達と相談しながら、授業以外の時間を有意義に過ごしてください。

Liverpool

世界文化遺産海商都市
ビートルズ博物館

THE BEATLES

Warwick Castle

英国15世紀の城

Scotland

産業革命以前より科学・技術の中心地であったが、何故か時代の波に取り残されたような手つかずの実直な美しさが楽しめる

York Cathedral

ヨーク大聖堂
英国教会(北部)の総本山

Blenheim Palace

バロック様式建築の傑作 世界遺産 チャーチル英国元首相が生まれ、幼少時を過ごした宮殿



Oxford 学府の都

Cambridge 学府の都



Stratford-upon-Avon Shakespeare Museum

イギリス16世紀ルネサンスの華シェイクスピアの生家



Cotswolds

時の流れが止まってしまったような緑の丘に点在する小さな村々、イギリスの中世の名残

Wales

アングロサクソン系とは異なるケルト系民族文化が色濃く残り自然や歴史遺産が多い

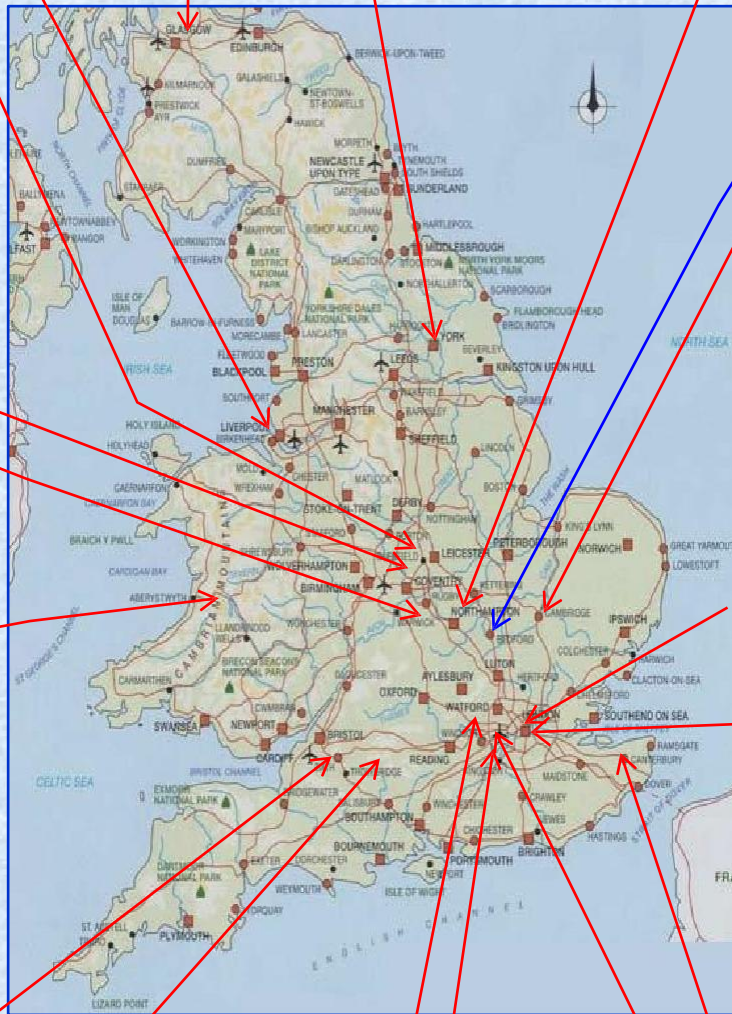


Bath

ローマ時代に浴場を建設

Stonehenge

ソールズベリー平野にあるヨーロッパ随一の巨石遺跡文化



グリニッジ天文台 グリニッジ標準時を決める天文台

London



Eton College

英国一の名門男子パブリックスクール

Canterbury Cathedral

カンタベリー大聖堂
英国教会の総本山

Windsor Castle

900年以上の歴史を誇るゴシック建築の玉城

Hampton Court Palace

テューダー様式建築の代表、16世紀ヘンリー八世の宮殿



King Henry the Eighth



ロンドン

紀元前にブリテン島に侵入していたローマ人が、テムズ河畔に「沼地の砦」を造り、沼地をラテン語でロンディニウムと言った。それがロンドンの街の名前の語源となった。人口800万人以上の屈指の世界都市であり、芸術、商業、教育、娯楽、ファッション、金融、メディア、観光、交通といった広範囲にわたる分野において強い影響力をもち、ニューヨークと並び世界をリードしている大都市である。

ウェストミンスター寺院やバッキンガム宮殿、世界一の収蔵を誇る大英博物館にもぜひ足を運んでみたいもの。ピカデリー・サーカスやウエストエンドには、エンターテインメントが集結。ロンドンっ子に混じって、にぎやかな街を散策しましょう。

The British Museum 大英博物館



大英博物館の起源は、古美術収集家の医師ハンス・スローンの収集品にさかのぼり、収蔵品は多くは個人の収集家の寄贈によるものである。世界最大の博物館の一つで、古今東西の美術品や書籍や略奪品など約800万点が収蔵されているが、そのうち常設展示されているのは約15万点である。収蔵品は美術品や書籍のほかに、考古学的な遺物・標本・硬貨やオルゴールなどの工芸品、世界各地の民族誌資料など多岐に渡る。イギリス自身のものも所蔵・展示されている。余りに多岐にわたることから、常設展示だけでも一日で全てを見ることはほぼ不可能である。



The Buckingham Palace バッキンガム宮殿

バッキンガム宮殿は、イギリスのロンドンにあるイギリス王室の宮殿。

外周護衛を担当する近衛兵の交代儀式を見物出来る、ロンドンで最大の観光名所。宮殿はエリザベス女王のロンドンの公邸であり、女王の執務の場でもあり、ロイヤルファミリーが諸外国からの賓客を迎える際の迎賓館でもある。

約1万坪の敷地を誇り、舞踏会場、音楽堂、美術館、接見室や図書館等が設置されている。

部屋数は、宴会場19、来客用寝室52、スタッフ用寝室188、事務室92、浴室78、部屋総数775である。

宮殿に勤務する人は約450名。



The National Gallery ナショナル・ギャラリー

1824年に設立され、13世紀半ばから1900年までの作品2,300点以上を所蔵

文化・メディア・スポーツ省の非省公共団体（非政府部門公共機構）である。

そのコレクションは大衆に広く公開されており、特別な企画展示をのぞいて入館は無料となっている。ただし、維持管理費用の一部を寄付でまかなうため、寄付を募る箱が入り口ほか数カ所に設けられている。ナショナル・ギャラリーは、コレクションの基礎が王室や貴族のコレクションの由来ではないという点で、ヨーロッパでもあまり例のない美術館である。



ロンドン

The Kensington Museum ケンジントン博物館

1851年ロンドンで開催された万国博覧会を契機とし万博の収益や展示品をもとに、イギリスの産業美術、工芸、工芸教育を発揚するために、1852年に産業博物館として開館した。

1851年の万国博覧会で欧州諸国に比して英国の産業製品のデザインの質が著しく低いことが指摘され、公衆の「趣味」を教育によって啓蒙し高めるべきであるという議論が沸き起こり、装飾美術館（Museum of Ornament Art）と改名し、1857年、現在のサウス・ケンジントンに移転しサウス・ケンジントン博物館と名を改める。

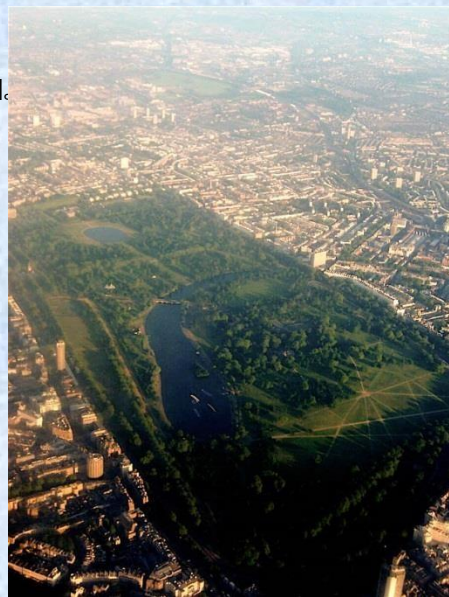
もともと、ヴィクトリア朝の産業・技術の発展を背景に、イギリスの工芸品やインダストリアルデザインの質を高め、工業の振興を図るための博物館として構想された。

ビクトリア朝時代の植民地拡大により、内外の美術工芸品、珍品が多く収集され、57年博物館の複合体として現在地に建設された〈サウス・ケンジントン博物館〉に移る。その後も収蔵品は増大し、99年、増築工事の定礎式の際、ビクトリア女王は夫君アルバート公の名を連ねた現在の名称を与えた。



The Hyde Park ハイドパーク

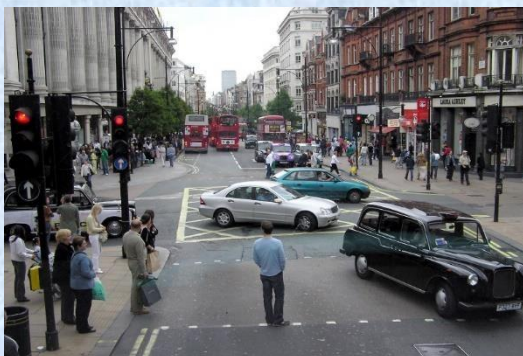
ロンドン中心部ウェストミンスター地区からケンジントン地区にかけて存在する王立公園の1つサーペンタイン・レイクにより敷地は二分されている。総面積は350エーカーの巨大な都市型公園。1851年には世界初の万国博覧会であるロンドン万国博覧会の会場となった。



The Oxford Street オックスフォード通り

オックスフォード・ストリートは、古代ローマブリタニア時代に軍事道路の一部として、ロンドンの主要な道路となって以来、1500年以上の歴史を誇る。ロンドン市中心部ウエストミンスター区を東西に貫くロンドンの大動脈であり、7.5 kmの一直線の道路である。年間2億人以上が訪れる、ヨーロッパで最も人通りが多いストリートであり、

300以上の店舗が連なる世界的なショッピング・ストリートとして有名である。オックスフォード・ストリートは、12月の最初の土曜日に限り、歩行者天国となる。



ロンドン

ウェストミンスター寺院やバッキンガム宮殿、世界一の収蔵を誇る大英博物館にもぜひ足を運んでみたいもの。ピカデリー・サーカスやウエストエンドには、エンターテインメントが集結。ロンドンっ子に混じって、にぎやかな街を散策しましょう。



エリザベスタワー (ビッグベン)

ウェストミンスター宮殿にある時計塔の名称。言わずと知れたロンドンの象徴です。鐘の音は学校のチャイムと同じ。

世界遺産 ウェストミンスター寺院 Westminster Abbey

英国王室の戴冠式などが行われるイギリス国教会の教会です。ゴシック建築の壮麗な建物で、ダイアナ元妃の葬儀も行われました。政治家などが多数埋葬されている。国会議事堂が隣接している。



ピカデリー・サーカス

エンターテインメント施設や店が密集。観光客や買い物客で常ににぎわっています。エロスの像は記念撮影スポット。



▼バッキンガム宮殿の衛兵交代の儀式は必見



タワーブリッジ

100年以上もの歴史がある跳ね橋。タワーの高さは約40m。左右にあるゴシック様式のタワー内部には展望通路・歴史博物館が。



ロンドン塔

ウィリアム1世によって、要塞兼宮殿として建造されました。王族たちの悲劇の場所として知られます。



B.A. ロンドン・アイ

上空約135mからロンドン市内の絶景が楽しめる、テムズ川 のほとりにある世界最大の観覧車。2000年のミレニウム・プロジェクトで生まれました。



ロイヤル・アルバート・ホール

ヴィクトリア女王の夫である、アルバート公に捧げられた歴史ある演劇場。約8,000人を収容できます。



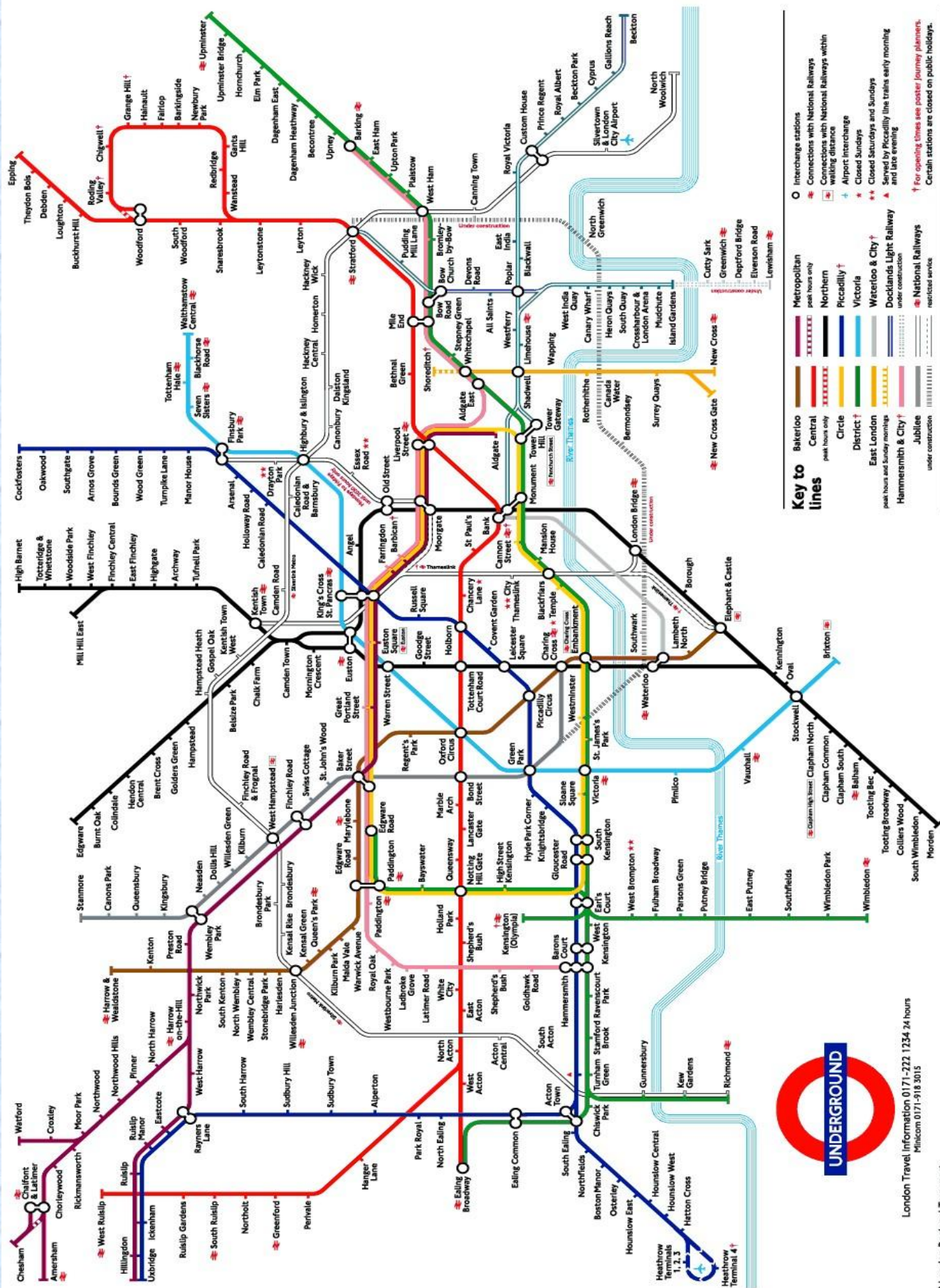
トラファルガー・スクエア

様々なイベントで賑わう巨大な広場。クリスマスのツリーが有名です。高くそびえるネルソン記念碑がシンボル。

マダム・タッソー館 マリー・タッソーが創立した蝋人形館。歴史上の人物や政治家、芸能人などを精巧に再現。

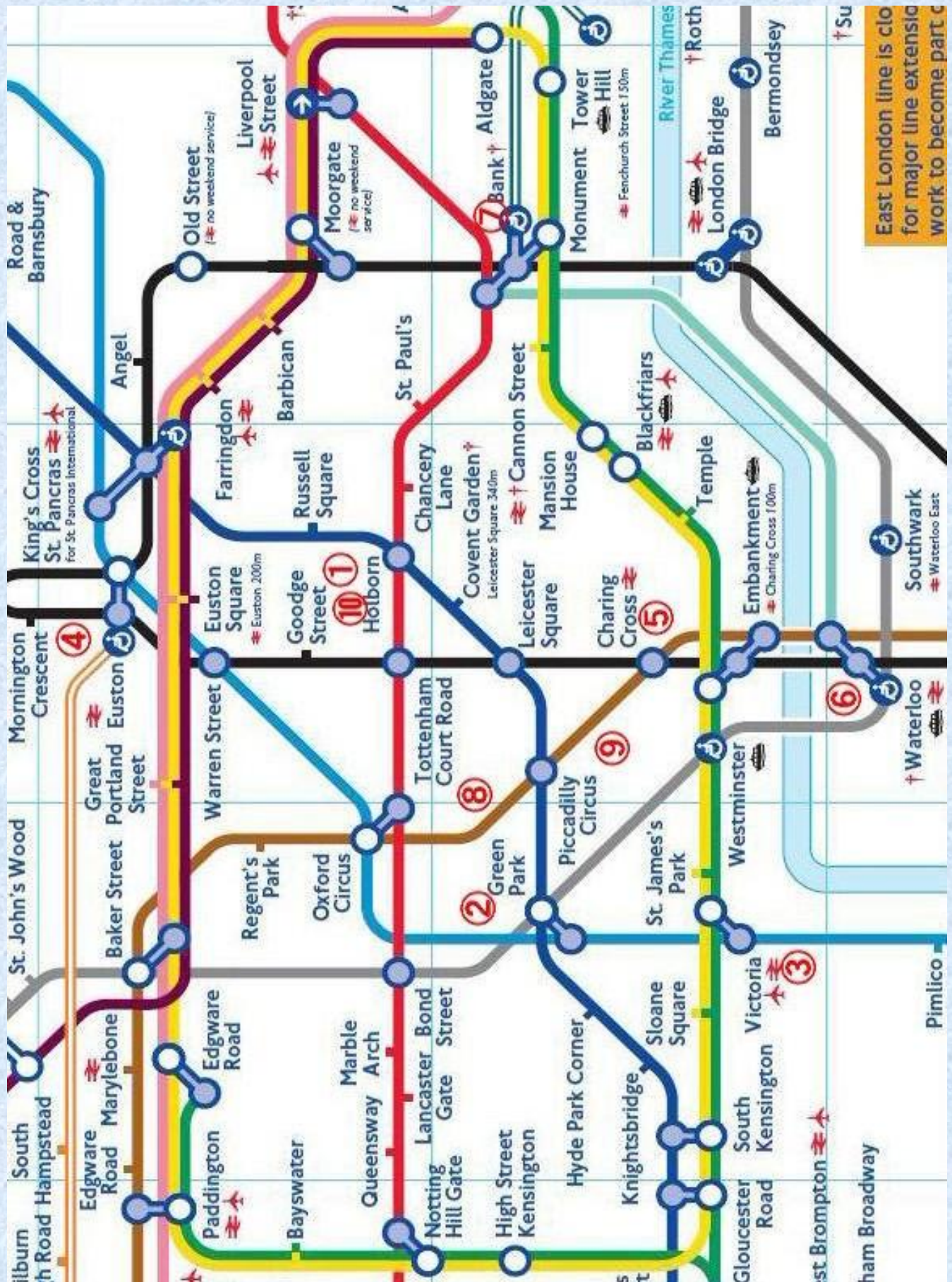
リージェントストリート 優雅なカーブの建物が特徴。道沿いに並ぶ老舗の名店でショッピングを楽しみましょう。

ロンドン地下鉄路線図 (全体)



London Travel Information 0171-222 1234 24 hours
Minicom 0171-918 3015

ロンドン地下鉄路線図 (中心部)



オックスフォード

オックスフォード周辺は、水のある浅瀬があり、
Ox「雄牛」が ford「浅瀬を渡る」通過点でした。
その意味をとって、Oxford と地名がつけました。

詩人マシュー・アーノルドが「夢見る尖塔の都市」と表現した12世紀に
遡る、英語圏最古の学府の都です。



オックスフォード大学図書館 Radcliffe Camera

この建物の地下6階までが図書館
になっている。
1737年に着工し、完成までに
10年以上かかった。



ハリー・ポッター・カレッジの礼拝堂



クライスト・チャーチ Christ Church

俗称「ハリー・ポッター・カレッジ」
“The House”との呼び名でも有名な、
オックスフォード最大のカレッジ。
カレッジ内にある大聖堂のステンドグ
ラスや、映画「ハリー・ポッター」の撮影で
使われた大学の食堂などが有名です。

アッシュモリアン博物館 Ashmolean Museum

荘重な新古典様式の博物館内には、
園芸家のジョン・トレイドスカント親子
が17世紀に収集を開始した美術品・
アンティークのコレクションがおさめら
れています。



ブレナム宮殿



イギリスを代表するバロック様式の宮殿。スペイン継承戦争で将軍ジョン・チャーチルが宿敵フランス軍を破った功績を讃えてアン王女から贈呈された。戦場となったブレンハイム（英語名ブレナム）より宮殿の名前が付けられた。その後チャーチル家の居城となり、1873年に首相ウィストン・チャーチルが誕生した場所としても知られている。チャーチル首相の生まれた部屋や英国の公爵の華やかな生活ぶりを垣間見ることができる。



ブライトン Brighton

イギリスのイングランド南東部に位置する都市。

知名度・規模ともにイギリス有数の海浜リゾートである。観光都市であることから、ホテルやレストラン、エンターテインメント施設が多数あり、これらの施設を活かしたビジネスカンファレンスなども頻繁に開催されている。このほかの側面として、大学や語学学校をはじめとする教育施設が多く、このため学生が多い。

ロイヤル・パビリオンやパレス・ピアなど見学できる場所が多い。

政党による年次大会を中心として、ブライトンでは数多くの会議も開催される。また、スポーツやレジャー施設の種類も豊富で、中でもサイクリングやモータースポーツが盛んであるため、毎年ロンドン-ブライトン間のレースが開催されている。



上流社会の保養地であった**バース**。当時の栄華を思わせる三日月型建築のロイヤル・クレセント、社交場だったパンプ・ルームなどは必見。



歴史と不思議のイギリス ストーン・ヘンジ & バース

ストーン・ヘンジとは？

ソールズベリー平野のほぼ中央にあり、紀元前に3段階に分けて造営されたと考えられていますが、未だに造った目的などが謎の遺跡。世界遺産の神秘的巨石群です。

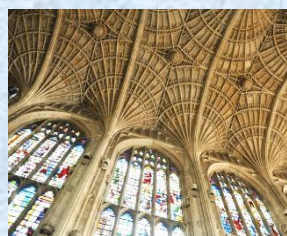


ローマ人が造った浴場は
世界遺産



サイエンス発祥の地ケンブリッジ

街を流れるケム川に沿って、緑あふれる美しい風景が広がる、英国の伝統を感じる学府の都です。ケム川に橋（ブリッジ）を架けることにより街は発展し、ケンブリッジという街の名前の由来になりました。



キングス・カレッジ

ケンブリッジでもっとも有名なカレッジ。キングス・カレッジ・チャペルは他の建物より200年近く古く、世界最大の扇形ヴォールトの美しさと繊細さには圧倒されます。



フィッツウィリアム博物館

世界で屈指の博物館。アンティーク、工芸品、コインやメダル、写本や書籍、そして絵画や素描の5つの部門があり、モネやルノワール、ピカソといった巨匠の絵画も見れる。

ケム川（パンティング）

ケンブリッジの語源である「ケム(River Cam)」でのパンティングはケンブリッジ名物の一つ。船から見える景色は一味違うケンブリッジを味わうことができます。



トリニティ・カレッジ

これまで31人ものノーベル受賞者を輩出したケンブリッジ大学群の1つ。かの有名なニュートンも卒業生の1人で、カレッジの中には「ニュートンのリングの木」があります。



ケンブリッジ大学のカレッジ数は31校。この“カレッジ”には、学生たちが寝食する学生寮があります。

このカレッジ群をひとつにして“ケンブリッジ大学”と称します。

オックスフォードに並んで、英国の教育を代表し、世界の科学を牽引してきた大学がある学府の都

また、理系に強いケンブリッジ大学のある街のためシリコン・フェンと呼ばれるイギリスにおけるハイテク産業の中心地にもなっています。

- ・ ロンドン市内からバスで約 1 時間30分 ～ 2 時間、電車で約45分
- ・ ケンブリッジはロンドンの地下鉄 Tube「キングス・クロス駅」から直行の列車で約45分！

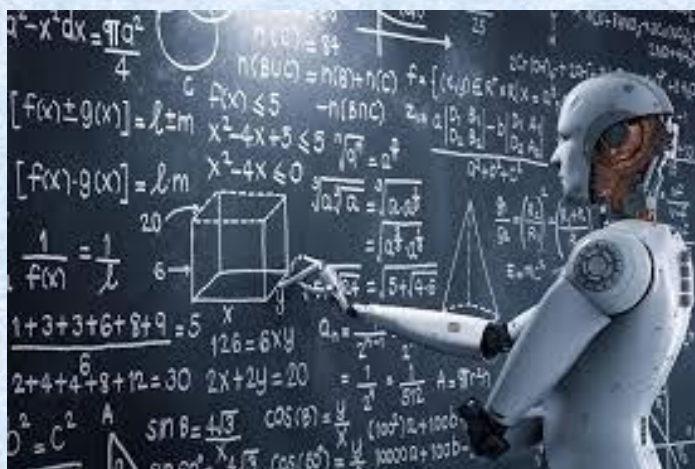


Isaac Newton Institute for Mathematical Sciences

Isaac Newton Institute
for Mathematical Sciences



フィッツウィリアム博物館



コッツウォルズ はちみつ色の小さな村々

人々が自然とともにのどかな暮らしを営むコッツウォルズ。緑の丘と愛らしい家、時間が止まったかのような田園風景は、絵本の世界そのまま。北はチッピング・カムデンから、南はカッスル・クームまで約160 kmにわたって美しい村々が点在しています。



絵本から抜け出したようなコッツウォルズの家並み ☺

マナーハウス

かつて、貴族などが暮らした邸宅マナーハウス。まるで、古き良き英国にタイムスリップしたよう！



カッスル・クーム

ナルニアへと繋がる洋服ダンスのある古い石造りの家、時計を持ったうさぎが走って行く丘陵地帯、霧に霞むホグズミード村、そしてホビット・ドワーフ・エルフの世界...。「ナルニア国物語」の一場面を思い起こさせる村



チッピング・カムデン

チッピングとはマーケットの意。13～14世紀に羊毛産地で栄え、当時のままの美しい家々が通りに建ち並びます。



ストラットフォード・アポン・エイヴォン

シェイクスピアの生誕地として知られるストラットフォード・アポン・エイヴォン川のほとりの町、多くの史跡が残ります。



ストウ・オン・ザ・ワールド

アンティーク・マーケットの中心地として有名。ここは丘の上に砦を築いて定住していた先史時代にまで遡ることができる歴史の深い街。コッツウォルズ産の石材で造られた家や、店、宿屋に四方を囲まれた、大きなマーケット広場は、何世紀にもわたり町の生活の中心である印象的なエリアです。

ボントン・オン・ザ・ウォーター

コッツウォルズで最も人気のある村。500羽以上の鳥のひそむ森林、川そしてガーデンが素晴らしいバードランド公園、及び周辺の庭園、澄んだに架かる人目を引く低い橋は非常に可愛らしく、老若男女誰もが楽しむことが出来る村です

ハリー・ポッター・ワーナー・ブラザーズ・スタジオ Harry Potter Warner Brothers Studio

ロンドン近郊のハートフォードシャーにある、ワーナーブラザーズの人気テーマパーク

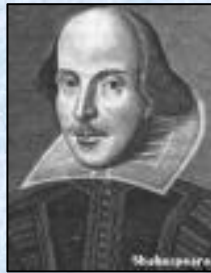
イギリスロンドン中心部から少し離れた場所にハリーポッターの撮影スタジオを一般公開する「ハリーポッター・ワーナーブラザーズスタジオ (Warner Bros. Studio)」

1990年代のイギリスを舞台に、魔法使いの少年ハリー・ポッターの学校生活や、宿敵闇の魔法使いヴォルデモートとの因縁と戦いを描いたイギリスの作家J・K・ローリングによる児童文学作品である「ハリー・ポッター」の、世界中で愛され続ける魔法と冒険のファンタジーを再現したものである。



ストラットフォード・アポン・エイヴオン Stratford-upon-Avon

イギリス16世紀ルネッサンスの華ウィリアム・シェイクスピアの故郷

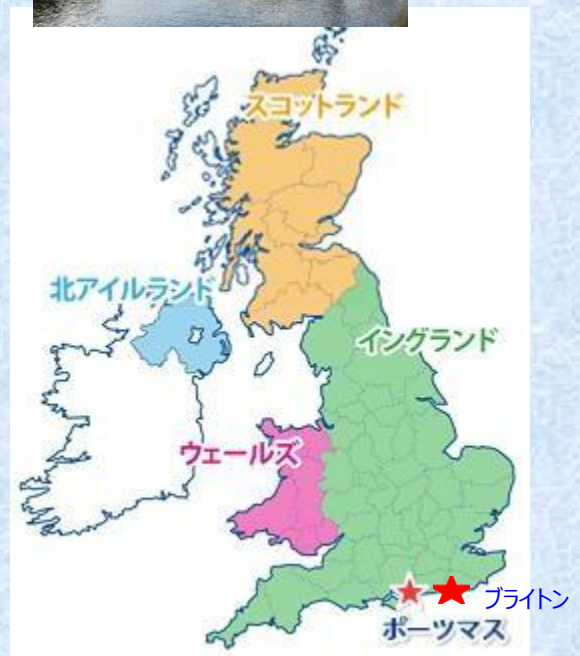


シェイクスピア劇演出においては、
世界一の権威を誇るロイヤル・シェイクスピア劇場



ポーツマス Portsmouth

イングランド南部の海岸に位置する港湾都市ポーツマス。
人口は約20万人。ポーツマスの港は歴史的な軍港であり、
いまだに現役の、世界一古い乾ドックもあります。
ポーツマスは日本人学生が少ないことも特長です。



課外活動のご紹介

授業の合間には課外活動プログラムがあります。新しい文化の習得や、初めてのことに挑戦しながら異文化理解への素晴らしい機会となります。

パンティング Punting

オックスフォードやケンブリッジで最も人気のあるアクティビティの一つ、オックスフォードに流れるテムズの支流、ケンブリッジに流れるケム川で地元の人々に親しまれている舟遊び、パンティングです。

チェアウエル川にしても、ケム川にしても、市内の周辺を弧を描くように流れており、また数多くのカレッジの中を流れているので、そこを小さな船『パント平底船』に乗って、長いポールを使って漕いで行くという至ってシンプルなものなのです。

カレッジめぐり

オックスフォード大学を構成する44のカレッジやケンブリッジ大学を構成する31のカレッジのいくつかは、有料、或いは無料で一般に公開していますので敷地内に入れます。例えば、Christ Church College は、通称ハリー・ポッターカレッジと呼ばれ、ハリー・ポッターのロケ地となりました。



The Eagle & Child

一見しただけでは何の変哲もないパブ。

ここには、「指環物語」のJ・R・R・トールキンや、「ナルニア国物語」のC・S・ルイスといった英国が誇る文豪たちが通い詰めていました。

店内中央に今も残る「ラビット・ルーム」という名の小部屋は、まさに彼らが陣取っていた場所であり、無造作に置かれた丸椅子とテーブルと暗い照明。この店内の空間そのものがまるで物語の世界のようです。

The Turf Tavern

週末になると、オックスフォード大学の学生たちや町の人たちで賑わうパブ。アメリカ合衆国元大統領クリントンが留学中によく過ごした隠れ家的な場所。

St. Mary Church Tower

傾斜度90度に近いはしごをあがって外にでると、そこから見えるオックスフォードの街は中世そのもの。

Covered Market

オックスフォードの街の中心にあるアーケード。18世紀にオープンした商店街の建物は、創業当時のままで、時間が止まったような空間。

日本の法律では、飲酒・喫煙は20歳からです。本プログラムの日本人受講生は日本の法律を遵守してください。

色々なイベント

週末や、レッスン後は、研修から一息つけるようなお楽しみイベントに参加できます。任意参加ですが、友達と、現地で出会った人達との交流を楽しんでください。



イギリスの気候



イギリスの気候・服装

一年中霧のような雨が降るため、日本より肌寒く感じる人が多いのがイギリス。



3月～5月

日中暖かい日でも朝晩は冷え込みます。一日の中でも**天気**が変わりやすく、晴天と思えば、突然激しい雨が降ることもあります。

6月～8月

30度近くになる日もありますが、湿度が低いめカラッとしています。日没後は急に肌寒くなることもあるので袖付きの上着を準備しましょう。

9月～11月

秋は曇りの日が多く、9月中旬を過ぎると朝晩はかなり冷え込むようになります。上着やセーターを用意して寒さに備えましょう。

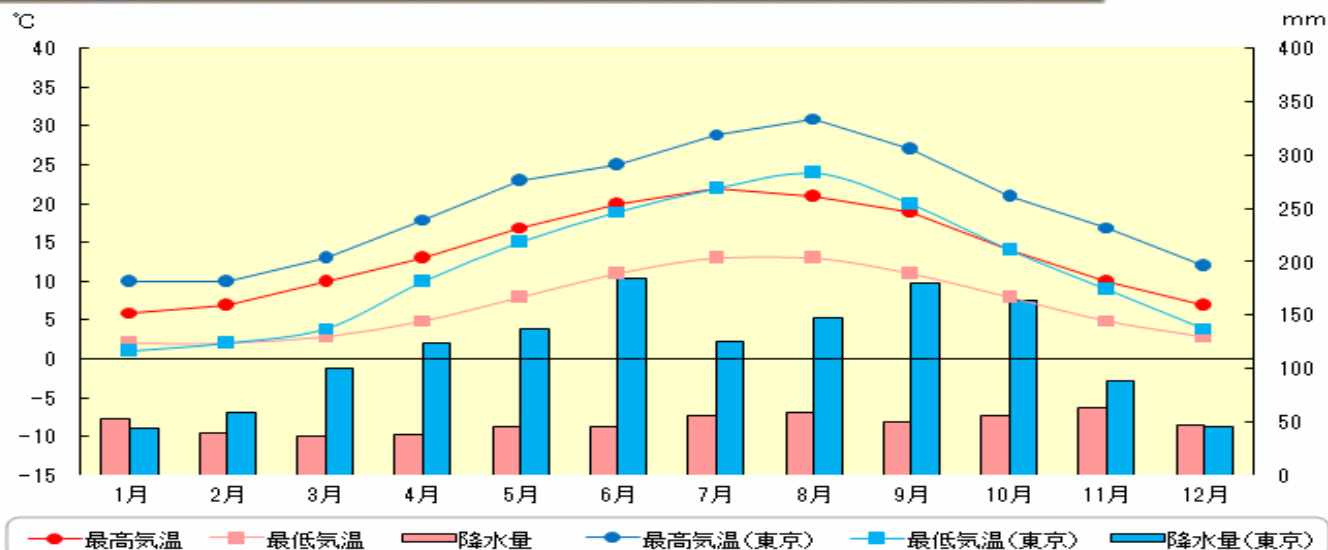
12月～2月

冬は日照時間が短く、寒い日が続きます。霧が発生する回数が多く、霧が出た日は特に冷え込むので、使い捨てカイロが重宝します。



ロンドンの気温と降水量

London



ロンドン London

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	6	7	10	13	17	20	22	21	19	14	10	7
最低気温	2	2	3	5	8	11	13	13	11	8	5	3
降水量	53	40	37	38	46	46	56	59	50	57	64	48

● 東京 Tokyo												
最高気温	10	10	13	18	23	25	29	35	27	21	17	12
最低気温	1	2	4	10	15	19	22	24	20	14	9	4
降水量	45	60	100	125	138	185	126	148	180	164	89	46

イギリスの交通手段やマナー

ロンドン市内の交通手段

ロンドンでは、地下鉄やバスで市内全域を移動できます。

■**地下鉄** もっとも確実に手軽な移動手段。Tube(チューブ)と呼ばれ、市内をくまなく網羅しています。1日乗り放題のカードなどがあるので、2回以上乗るなら購入するとよいでしょう。

■**バス** バス停留所はRequestとBus Stopの2種類があり、Bus Stopは普通にバスが停まりますが、Requestでは手を上げないと停まらないので注意しましょう。

■**タクシー** ロンドンでは、Black cabと呼ばれている黒い車。基本的には手を上げて停車したら乗り込み、料金は降車して窓越しで支払います。乗る前に目的地までいくらかの料金になるか確認しておきましょう。また、Black cab 以外のタクシーは危険なので乗らないように要注意！

■**ダブルデッカー** ロンドンの2階建てバスに乗るときは、事前に停留所付近の自動券売機で乗車券を購入します。券売機はお釣りが出ないので注意が必要です。



地下鉄は混雑しているので、貴重品の管理を！ イギリスのタクシーは自動開閉ドアではありません。ロンドンのバス停では、礼儀正しく並びましょう！

イギリスでのマナー

エスカレーターでは左側を空けます。また体の接触に関しては、日本人より神経質なので混雑している場所でも他人と身体が触れたら「エクスキューズ・ミー」とひと言を。

■**チップ** サービス料の含まれていないレストランでは10%前後のサービス料金を追加しましょう。タクシーも通常は10%前後を加算。50ペンスと1ポンド硬貨は常に用意しておきましょう。

■**喫煙** スコットランドでは、公共の場での喫煙が禁止され、北アイルランドも追従の予定です。喫煙に比較的寛容なイングランドでも禁煙推進の流れに。公共の場では「NO SMOKING」の表示に注意しましょう

■**写真撮影** イギリスでの写真撮影は、撮影禁止区域はもちろん、空港などでも注意が必要です。判断に迷ったら、必ず周囲の人に確認しましょう。人物を撮るときは、ひと言断ってからがマナー。

■**服装もTPOを考えよう** レストランで食事をしたり、劇場鑑賞の際にはドレスコードの確認や雰囲気合った服装を心がけましょう。一流レストランであれば男性は上着にネクタイ、女性もセミフォーマルな洋服が望まれます。



レディーファーストを心がけましょう

レディーファーストのお国柄です。エレベーターを降りる時や、お店を出る時など、イギリスでは常に、女性を先に通すようにしましょう。

また、自分の後ろから続けて誰かが入ってくるときはドアが閉まらぬよう支え、後ろの人を待つマナーが定着しています。

イギリス 入国・出国



フライト・飛行時間

航空会社、天候、乗継の有無などの条件により異なりますが、直行便で東京からロンドンまで約12時間半かかります。

- 機内への持込: 原則として縦、横、高さの3辺の和が115cm以内。
- テロ対策で厳しくなっているので、爪切り、カミソリなどは預け荷物へ。
- 液体は100ml以下の容器に移して透明な袋に入れましょう。
- **E-チケットは往路・復路両用です。帰国する時にも必要ですので大切に保管してください。**



イギリス入国の流れ

※日本国籍の方が観光目的で短期入国する場合の条件です。
※ビザ・パスポートなどの情報は予告なく変更されることがあります。必ず大使館、領事館または旅行会社でご確認ください。

税関申告が必要なものがあれば「税関申請書」が機内で配られるので、受取り、その場で記入しておきましょう。

- **パスポート残存有効期限** 日本帰国時まで有効なパスポートが必要（日本国籍の場合）期限については必ず確認しておきましょう。
- **ビザの発給** 6ヵ月以内の観光はビザは不要です。（外国籍でビザが必要な場合、駐日英国大使館ホームページの申請要項をよく確認して、所定の手続きを行ってください。）
- **電子渡航認証(ETA)の申請** 日本国籍の方も取得が必要です。オンラインにて申請し申請画面をスクショ、又はPDFにして保存おきましょう。
- **受講許可証(Letter of Acceptance)** ■ **渡航許可証(Letter of Consent to Travel)** は、スーツケースに入れないで、スマホにダウンロードするかパスポートにはさんでおきましょう。

イギリス 入国の流れ

1. **入国審査** まずは“Arrivals（到着）”の表示に従い入国審査のカウンターへ。パスポート、受講許可証、渡航許可、帰りの航空券を提示しましょう。
2. **荷物の受取** 預けた荷物は“Baggage Reclaim”で受け取ります。便名が表示されたターンテーブルで待ちましょう。破損や紛失などのトラブルはすぐに係員に報告しましょう。
3. **税関** 課税対象になる物を持っている場合は、赤いランプのカウンターへ。申告するものがなければ、緑のランプのカウンターで審査を受けます。ここを通過すれば入国手続きは完了です。

イギリス出国の流れ

出国の手続きは、搭乗手続き・手荷物検査の2ステップ。余裕をもって済ませましょう。あとは空港の免税店でのおみやげ探しなどで、時間を有効に使いましょう。

イギリス 出国の流れ

1. **搭乗手続き(チェックイン)** 利用する航空会社のカウンターでチェックインを。余裕をもって手続きすると後が楽です。預ける荷物がある場合はこの時に。
2. **手荷物検査** 保安検査で機内持ち込みの手荷物検査を受けます。

機内持ち込み

袋のサイズ：縦横合計40cm以内が目安



1. 100ml以下の個々の容器で
Only containers of 100 ml or smaller
100毫升以下の多个容器
100ml이하 각각의 용기

**2. 1リットル以下のジッパー付
無色透明プラスチック袋に**
Transparent, re-sealable plastic bag
up to a capacity of one liter
1公升以下带拉链的无色透明塑料袋
1리터이하의 지퍼부 무색투명 플라스틱 봉투에

3. 1人1袋まで、検査トレイへ
Only one bag per passenger
Place it on a tray at the security check
point area
1人仅限1袋，请放到托盘上
한명 한봉투까지, 검사 트레이에

20 c m

液体物の対象となる物(半液体のものも含む)

- ・ 液体
- ・ ジェル類
- ・ エアゾール(スプレー等)
- ・ 歯磨き粉等の練り状物

持ち込み禁止液体物の例



味噌



缶詰・瓶詰め



漬け物



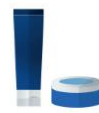
ヨーグルト



ゼリー



スプレー
エアゾール



ヘアジェル
ヘアワックス



シャンプー
リンス
液体ソープ



歯磨き粉

上記のものは持ち込み制限の対象となる液体物に分類されます。
100ミリリットル（100g）を超える場合は保安検査場で放棄して
いただくことになりますので、事前によくご確認ください。

18歳未満の渡航者の入国

🇬🇧 18歳未満の渡航者の入国について



18歳未満の方が無査証で片方の親同伴または単独で渡航する場合、渡航しない親・保護者からの下記が記載された英文同意書が必要となります。

渡航者が16歳未満（障がいがある場合は18歳未満）かつ近親者でない者が28日以上世話をする場合は、訪問する地方自治体への通知も必要です。

英文同意書 記載事項

- ① 未成年の滞在先・滞在予定日数
- ② 両親の連絡先（電話番号必須）
- ③ 同行者の情報（〇〇（同行者）と一緒に渡航することを認めている旨の記載）
※修学旅行や研修旅行等への参加の場合、引率教員・添乗員等の情報を記載
- ④ 同行しない親のサイン
(死別や離婚等で片方の親しかサインができない場合、サインができない親のサイン欄に理由を記入)
- ⑤ 日付

Presented by  Nihombashi Yumeya

既に弊社提携の旅行会社より案内済みかと思います。

※入力したものを必ず印刷もしくはスマホにダウンロードしておいてください。入国審査にて提示が必要となる場合があります。



18歳未満の渡航者の入国

渡航同意書記入例

WRITTEN CONSENT FOR CHILD UNDER 18 YEARS TRAVELING WITH ONLY ONE PARENT OR WITHOUT EITHER PARENT

渡航同意書（18歳未満の子供）片方の親または両方の親が同行しない渡航

TO WHOM IT MAY CONCERN : I(WE) AUTHORIZE THE MINOR

NAME YAMADA TARO (渡航者名) PASSPORT NO. MK1234567 (パスポート番号)
DATE OF BIRTH (生年月日) 2005 / 02 / 26
TRAVEL TO (渡航先都市名) Paris FROM (入国日) 2021 / 04 / 23 TO (出国日) 2021 / 05 / 05
Purpose of His / Her Trip is (渡航目的) sightseeing

※以下3項目のうち、いずれか1つに✓し記入してください

☐ ACCOMPANIED BY THE FOLLOWING PERSON(S): →両親以外の同行者の場合

Name (同行者の名前) TANAKA HANAKO (Relation (渡航者との関係) aunt)
Address (同行者の住所) Japan,TOKYO Setagaya-ku Sengenjaya1-1-1
DATE OF BIRTH (同行者の生年月日) 1978 / 08 / 04 TEL (同行者の電話番号) +819-1234-5678
PASSPORT NO. (同行者のパスポート番号) TM1234567

☐ UNDER THE RESPONSIBILITY OF (同行する親の名前) YAMADA HIROSHI →片方の親が同行する場合

ACCOMPANIED PARENT'S DATE OF BIRTH (同行する親の生年月日) 1972 / 12 / 05
PASSPORT NO. (同行する親のパスポート番号) TU1234567

☐ REFERENCE(ex: HOTEL) →同行者がいない場合：滞在先を記入してください

Name (滞在先名) The Langham London (Relation HOTEL OTHERS ホテル以外の場合は施設名称を記入)
Address (滞在先の住所) 1c Portland Place, Regent Street, London, GB W1B 1JA
TEL (滞在先の電話番号) 44 (0) 20 7636 1000

※以下項目は片方の親が同行する場合は同行しない親が、それ以外の場合は両親が記入してください

FATHER(PRINT NAME) <u>YAMADA HIROSHI (同行しない父親の名前)</u> CONTACT INFORMATION (PHONE NUMBER,etc.) <u>+819-9876-5432 (父親の連絡先)</u> SIGNATURE <u>YAMADA HIROSHI (父親のサイン)</u> DATE <u>2021 / 01 / 23 (サインした日付)</u>	MOTHER(PRINT NAME) <u>YAMADA SACHIKO (同行しない母親の名前)</u> CONTACT INFORMATION (PHONE NUMBER,etc.) <u>+819-1122-3344 (母親の連絡先)</u> SIGNATURE <u>YAMADA SACHIKO (母親のサイン)</u> DATE <u>2021 / 01 / 23 (サインした日付)</u>
---	---

WE SOLEMNLY SWEAR THAT HE / SHE SHALL COMPLY WITH THE LAWS AND REGULATIONS OF YOUR COUNTRY,
FEDERAL AND LOCAL, NEVER BE A BURDEN, ECONOMIC OR OTHERWISE, TO YOUR COUNTRY AND DEPART COUNTRY
WITHIN THE REASONABLE TIME NEEDED FOR TRANSFERS TO AND FROM JAPAN.

WE WOULD APPRECIATE IT VERY MUCH IF YOU WOULD TAKE THE NECESSARY ACTION TO GRANT HIS/ HER
THE ENTRY PERMIT TO YOUR COUNTRY AT YOUR EARLIEST POSSIBLE CONVENIENCE.

THANK YOU FOR YOUR COOPERATION.

入国の流れ

入国審査→預け荷物受け取り→税関申告

✈ 1

入国審査

▷飛行機を降りたら

Arrivalsの表示に従って進む

▷入国審査(自動化ゲートは18歳以上)

パスポート／帰りの航空券／**受講許可書**

渡航許可書／英文同意書は印刷かダウンロード



✈ 2

預け荷物受け取り

▷電工掲示板で自分のフライトを探し

荷物の流れてくるターンテーブルの番号を確認

▷荷物が流れてくるのを待つ、来なかったり

見つからない場合や破損があった場合は係員に報告しましょう

入国の流れ

入国審査→預け荷物受け取り→税関申告

✈ 3

税関申告

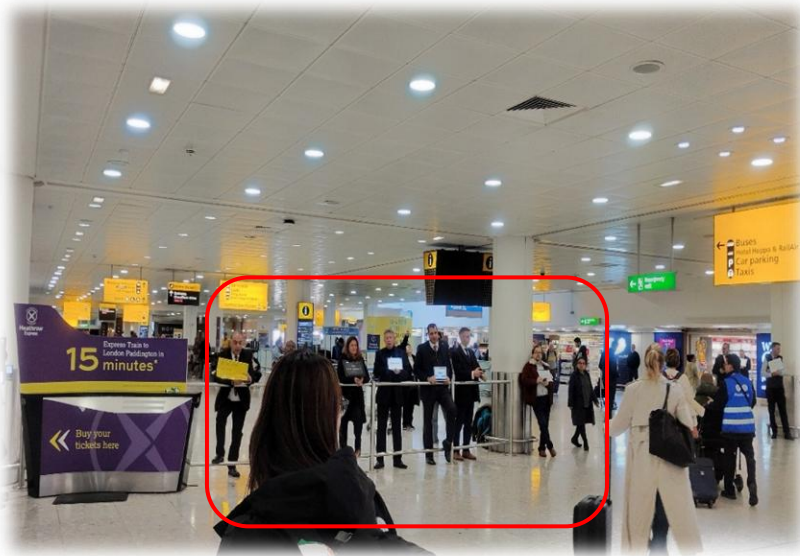
▷課税対象になる物を持っている場合は、赤いランプのカウンターへ。申告するものがなければ、緑のランプのカウンターで審査を受けます。ここを通過すれば入国手続きは完了です。



✈ 4

ミーティングポイントへ

▷ドライバーが生徒の名前か、Oxford と書いてあるA4サイズの紙を持って待ってます。



出国の流れ

搭乗手続き→手荷物検査

✈ 1 搭乗手続き

▷ 利用する航空会社のカウンターでチェックインを。余裕をもって手続きすると後が楽です。預ける荷物がある場合はこの時に。

※ヒースロー空港はとても広く、日本のようにモノレールなどないので、ゲートまで徒歩で移動となります！

帰国の前日または数日前に空港見送り専用バスに乗る場所(キャンパス内)、乗る時間について連絡があります。チェックインの3時間前に空港に到着するように計画をします。

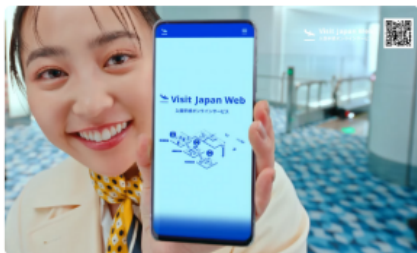
✈ 2 手荷物検査

▷ 保安検査で機内持ち込みの手荷物検査を受けます。



Visit Japan Web の登録

🇯🇵 入国手続オンラインサービス (Visit Japan Web)



入国審査(外国人入国記録) 及び 税関申告(携帯品・別送品申告)
をを行うことができるウェブサービスです

日本への帰国・入国前に [Visit Japan Web](#) への登録を済ませておく
ことで、空港ではQRコードを提示するだけで各種手続きをスムーズ
に行うことができます

※ 外国籍を有する免税購入対象者のうち、在留資格が「短期滞在」「外交」「公用」の方は免税機能も利用可能です

❗ 入国手続に必要な情報の登録は、パソコンからでも可能となっておりますが
入国手続時の二次元コードの提示は、お手持ちのスマートフォンやタブレットで行っていただく必要があります



登録に必要なもの

What you need for registration



航空券
air ticket



パスポート
passport



Eメールアドレス
mail address

Presented by Nihombashiyumeya

Visit Japan Web

日本へ入国される方へ For All Travelers Entering Japan

入国手続(入国審査・税関申告) 及び 免税購入に必要な情報を登録します

STEP1

STEP2

STEP3



日本入国・帰国の前に行うこと

Things to do before entering or returning to Japan



<https://services.digital.go.jp/visit-japan-web/>

1

アカウント作成・
ログイン

2

利用者情報の登録

3

入国(または帰国)
スケジュールの登録

4

必要な手続きの情報登録

Visit Japan Web の登録



※日本到着予定時刻の
6時間前までに登録が必要で
す。

① 新規アカウント作成・ログイン

新規にアカウントを作成する場合はメールアドレスが必要です



② 利用者の登録

入国手続区分の登録、パスポート読取、日本での連絡先を入力



③ 入国・帰国の予定を登録

旅行情報を入力し、スケジュールを登録します



④ 入国・帰国の手続を入力

登録した予定をクリックし必要な手続情報を登録します



イギリスのお金

イギリスのお金は硬貨が8種類、紙幣が4種類ある。
(1ポンド=100 ペンス)



1	1ペニー (銅貨) 1ペニー (ペンス) X100=1ポンド	2	2ペニー (ペンス) (銅貨) 2ペニー (ペンス) X50=1ポンド	3	5 ペンス (銅貨) 5 ペンス X 20 = 1 ポンド
					
4	10 ペンス (銅貨) 10 ペンス X 10 = 1 ポンド	5	20ペンス (銀貨) (20ペンス X 5 = 1ポンド)	6	50ペンス (銀貨) (50ペンス X 2 = 1ポンド)
					
7	1 ポンド (厚めで金色)	8	2 ポンド (周囲が金色、中心は銀色で、大型きいコイン)	9	5 ポンド札
					
10	10 ポンド札	11	20 ポンド札	12	50 ポンド札 (ほとんど流通していない)
					

個人情報取扱／受講規則などについて

受講生の個人情報について

- ・受講生に緊急事態が発生した場合には必ず保護者または保証人が対応できることを確認してください。
- ・受講生の身体的ならびに心理的（例：過食症、拒食症など）状況について必ず報告してください。これは、受講の可否を決める基準ではありません。
- ・受講生の食事療法（例：食物または動物アレルギー、菜食主義など）について必ず報告してください。
- ・到着時に身分証明書発行のために受講生の写真を撮る場合もあります。ご了承くださいますようお願いいたします。

留学の充実と促進のための資料作成について

英国での留学は、より一層の充実と促進を求めて、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、その委託団体であるOIEG Oxford International Education Groupや ICC International Communications Councilの広報媒体用に受講生の写真や活動をビデオに撮ります。ご協力をお願いいたします。

しかし、写真が掲載されたり、ビデオを撮られることにご同意いただけない場合は、その由、学生本人ならびに保護者様より文書でご指示くださいますよう、お願いいたします。

英国入国について

英国入国管理事務局からの指導により、英国に入国する場合、「渡航許可証」*Letter of Consent to Travel*を提示しなければなりません。該当者には、ICC（International Communications Council）ならびにICCが認める英国の運営団体は「渡航許可証」*Letter of Consent to Travel*を発行します。

なお、英国入国管理事務局からの指導により、ICC（International Communications Council）ならびにICCが認める英国の運営団体は、研修受講生の年齢に関係なく、全員のパスポート（身分証明書）のコピーの提示を求める場合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。

危機管理について

<http://www.anzen.mofa.go.jp/readme/readme.html>

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/useful_info.html

<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/index.html>

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo.asp?id=154#ad-image-0>

外務省 海外安全ホームページ (mofa.go.jp) <https://www.anzen.mofa.go.jp>

家族・友人の訪問

留学中、受講生の保護者または友人が受講生を訪問する場合は、事前に文書(メール)で知らせてください。

危機管理

たびレジは、外務省が提供する海外安全情報配信サービスです。
最新の海外安全情報をメールでお届けします。
緊急時の連絡、安否確認、支援などが受けられます。



「たびレジ」の4つの安心

「たびレジ」に登録で

安心1

出発前から
旅先の安全情報を
入手！



「〇〇地区では外国人旅行者を狙ったひったくりが多発しています！」

安心2

旅行中も
最新情報を
受信！



「〇〇地区では外出禁止令が発出されました！」

安心3

現地で事件・事故に
巻き込まれても
素早く支援！



「被害に遭われていませんか？」

簡易登録で

安心4

日本にいても
世界の最新情報を
入手！



- △△地区で地震が発生！
- ××国で感染症が流行！

こんな時便利です

- ▷海外旅行中に、急に現地の治安が悪化したとき
- ▷滞在中に大規模な自然災害(地震、台風など)が発生したとき
- ▷テロや暴動に巻き込まれる可能性があるとき

事前に登録しておけば、万が一の際に日本語で情報を受け取れるので、安心して海外に滞在できます。

登録は無料で、外務省のウェブサイトから簡単に行えます。

持参物

持参物について下記を参考にしてください。

メモ	
1	パスポート
2	パスポートのコピー数枚（カラー）および証明写真カラー 2 枚ぐらい
3	航空券 E-チケットは往路・復路両用です。帰国する時にも必要ですので大切に保管してください。
4	・現金 ・クレジットカード（欧米ではクレジットカードが普及していて、ほとんどの店で、クレジットカードで買い物ができます。使い方とか、支払時期、金利など、注意すべき事項等には、 慣れておきましょう！ ）、デビットカード
5	海外旅行傷害保険証券およびそのコピー
6	受講許可証、渡航許可証など、ICCがメール添付配布した資料（携帯電話などにダウンロードおよび印刷しておいてください）
7	大学の学生証（身分証明および学割などのために利用できる場合があります）
★ 貴重品は、気をつけて管理しましょう ★	
8	斜めがけできるバッグ （市街地に出かける時、貴重品を持ち歩く場合、手提げバッグではなくて、 体に斜めがけ できるバッグなどは、重宝します。リュックなどは、後ではなくて、前に背負った方が無難です。）
9	使い慣れているタブレット端末、イヤホン 、筆記用具・（電子）辞書・ノートなど
10	常備薬
11	折りたたみ傘またはレインコート
12	カメラ（街中で他人に、写真を撮ってもらうために無用心にカメラを預けないように！ ひったくり盗難防止！）日本人が持っているものは小型で性能が良いので、ひったくり狙われやすいです！
13	厚手のソックス（防寒用に厚手のソックスを一足持参しておくとう便利です。）
14	洗濯ネットを2つぐらい（大きめ）持参すると便利です。 （洗濯物を、自分の部屋で紐にぶらさげて干してはいけません）
15	洗面用具（シャンプー・リンスなどは2, 3日分持参して、あとは現地で購入できます）
16	バスタオルとフェイスタオル
17	ヘアドライヤー
18	目覚し時計
19	着替え（平常の生活では、日本での生活と同じ服装）長袖シャツ、セーター、コートなど
20	パジャマ
21	各自の必要な充電器（パソコン・デジカメ・携帯電話用など）
22	100ボルト⇒240ボルト用変圧器（ヘアドライヤーなどの家電製品には変圧器が内蔵してあるものもありますので、それぞれ確認してください。）
23	歩きやすい靴
24	プラグ（形状に要注意－ BFタイプ、角型3つ口 ）プラグは三つ叉で、先が四角い形の「BFタイプ」という変換アダプターを用意しましょう。「ユニバーサル対応」の充電器や電源アダプターを使う時でもコンセントに差し込むプラグの変換アダプターは必須です。 日本の量販店や空港売店の他、英国でもドラッグストアの「ブーツ（Boots）」などで手に入ります。

Q & A

(下記の質疑応答のいくつかは、団体の研修参加の学生や学寮ステイの学生が対象となっています。ご了承ください。)

Q-1 ロンドンの国際空港に到着しました。どこに行けばいいですか？

A-1 迎えの者が**到着ロビー**で待っています。迎えの者が声をかけてきますので、名前をお伝えください。

Q-2 特別な食べ物にアレルギーがあります。どうしたらいいですか？

A-2 サマースクールの受講生のアレルギーには過去27年間対応してきて経験があります。トラブルを起こしたことはありません。あなたのアレルギーについて、できるだけ早く、知らせてください。対応いたします。

Q-3 ロンドンの街中で、皆とはぐれてしまいました。どうしたらいいでしょう？

A-3 慌てて、走り回ったり、動き回ったり、移動しないでおきましょう。落ち着いて、Activity Leaderの携帯電話に連絡しましょう。または、到着日にもらったwelcome packの中の、'Emergency Number' に電話をして、Activity Leaderに連絡してください。

Q-4 課外活動は選ぶことはできますか？

A-4 課外活動については、前もって案内されます。
自分が参加したい課外活動は、必ず、サインアップして、自分の場所確保のために登録しておきましょう。

Q-5 門限は何時ですか？

A-5 10：30分までに、自分の部屋に戻っていなければなりません。消灯は11時です。

Q-6 火災訓練では、何をしますか？

A-6 けたたましいサイレンが鳴ると、直ちに、階段を使って、部屋、建物の外に出てください。安全が確認されてから、部屋に戻ることができます。

Q-7 スポーツはできますか？

A-7 色々な屋内・屋外スポーツを楽しむことができます。

Q-8 食事のとり方について教えてください。

A-8 食事は、大学のカフェテリアで、セルフサービスで、お肉、野菜、チーズ、デザートなど、自分の好きな物を選ぶことができます。食事が終れば、自分でトレイを返却してください。

Q-9 治安について教えてください。

A-9 キャンパスには映像監視システムがあり大学警備員にて24時間体制で監視しています。
各自の部屋は、カードロックになっています。貴重品は、大学本部のサマースクールセンター長の金庫に預けておくこともできます。

Q-10 常備薬について

A-10 医療体制は整っていますが、平常、使い慣れている常備薬は必ずご持参ください。

Q & A

Q-11 電圧など、日本とは違いますか？

A-11 日本の電圧は100Vですが、英国は240Vです。ほとんどの家電商品（携帯電話充電器、ヘアードライヤー、コンタクト洗浄器等）は変圧器が内臓されていますが、変圧器を持参する必要があるかどうかを確認してください。コンセントの形状はBFタイプです。BFタイプのコンセントに合うプラグの持参が必要です。

Q-12 英語の授業について教えてください。

A-12 英語の授業はCEFR（セファール），“Common European Framework of Reference for Language”という語学のコミュニケーション能力のレベルを示す国際標準規格のもとに授業を進め評価します。

Q-13 先生はどのような人ですか？

A-13 語学に関しては、ブリティッシュ・カウンシル、イングリッシュUK等の公認の先生で、外国語としての英語教授法の高い資格を持っています。

Q-14 インターネット接続はできますか？

A-14 Wi-Fiまたはケーブル接続が可能です。

Q-15 パソコンや何らかのタブレット端末を持参した方がいいですか？

A-15 タブレット端末は持参した方が便利です。しかし、貴重品ですから、しっかり管理してください。

Q-16 携帯電話やスマートフォンを持参してもいいですか？

A-16 持参してもよいです。貴重品ですから、しっかり管理してください。

Q-17 洗濯は、できますか？

A-17 カレッジに、洗濯機があります。ホームステイの場合はホストファミリー宅で洗濯ができます。

Q-18 自由時間はどのように過ごしますか？

A-18 色々なOnsite-Activities（課外活動）が計画されています。必ず、サインアップ（登録）して、参加しましょう。

Q-19 パーティー用の服は要りますか？

A-19 研修中は、フォーマルではなく、色々な略式パーティーがあります。ちょっとおしゃれな服（男子はボタン付きシャツ・ネクタイ、女子はワンピースなど）を準備しておくといでしょう。

Q-20 お小遣いはどのくらいありますか？

A-20 各自買物は自由ですが、1週間に50～70ポンドもあれば、小物やおやつは購入できます。ほとんどキャッシュレスでお買い物ができます。

Q-21 ミネラルウォーターは容易に手に入りますか？

A-21 キャンパス内に売店があります。ミネラルウォーターやスナックは、売店で購入できます。イギリスの水道水は、衛生上、飲めます。

Q & A

Q-22 研修が終了しました。どうしたらいいでしょう？

A-22 出発前日または数日前に、空港見送り専用バスに乗る場所（キャンパス内）、乗る時間について連絡があります。チェックインの3時間前に空港に到着するよう計画をします。

Q-23 わからない事があれば、どうしたらいいですか？

A-23 何でも、わからない事は、スタッフに尋ねてください。それが、英語の練習にもなります！

メ

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.



International Communications Council

16-1
Aoba-dai
Kita-ku
Kobe-city
Hyogo-prefecture
651-1231
Japan